

## 令和3年度東日本大震災津波伝承館の取組の方向性について

### 1 東日本大震災津波の管理運営

#### ① 感染症対策への対応

来場者が安心安全に見学できるよう、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を基本とし、引き続き感染予防対策に取り組む。

#### ② 企画展示の実施

常設展示に加え、震災津波に関する最新の知見・技術等を紹介する企画展示（年4回）や関係機関と連携した展示やイベント等を企画・実施する。

### 2 教育・普及

#### ① 教育旅行・校外学習の誘致促進

ア 復興教育推進校と協力し、事前・事後学習を含む伝承館の震災学習プログラムを作成し、利用促進を図る。

イ 見学人数に応じた視察事例の紹介や学びを深める教材「震災伝承ノート」（中高生用、小学生用）の配付

#### ② 多様な来館者の誘致促進

ア 県立野外活動センターと連携した震災学習プログラムの提供

イ 東北DCへの対応（団体ツアー客の受入れ等）

ウ 高田松原復興祈念公園パークガイドとの連携

エ インバウンドへの対応

### 3 広報宣伝

#### ① 報道機関への情報提供によるパブリシティ

大船渡記者クラブ及び県政記者クラブへの情報提供を通じて、県内向け報道の充実を図るとともに、HPによる情報発信を行う。

#### ② 国際学会等での情報発信

令和2年度は、震災10年の節目に国際学会等が多く開催されることから、伝承館への視察誘致や学会会場でのPRを実施する。

- ・ 世界地震工学会（仙台市）
- ・ 防災国民推進大会 2021（釜石市）
- ・ 世界防災フォーラム（仙台市）

#### ③ 震災伝承施設の広域連携推進（3.11 伝承ロードとの連携）

学会等での震災伝承パネル展示、広域パンフレットの作成、旅行会社見学ツアーの受入などの取組により広域連携を推進する。

### 4 交流・連携の推進

#### ① 海外津波博物館との連携等による伝承・発信

- ・ 「三陸 TSUNAMI 会議」（仮称）の開催

#### ② 岩手大学、東北大学との連携協定に基づく取組推進

ア 岩手大学地域防災研究センター

研究者や学生の研究フィールドとしての活用や陸前高田グローバルキャンパスの事業と連携した学生の視察の受入れを行う。

イ 東北大学災害科学国際研究所

伝承館の学術面の助言・指導のほか、海外博物館とのネットワーク構築や各種国際学会での情報発信を展開する。